

広報

てび

2010

5

No. 432



特集

学力向上への方程式＝学校＋家庭＋地域
学力調査の結果と今後の取り組み

観光の拠点「二の丸館」完成

写真は、4月13日に行われた日出小学校の入学式。名前を呼ばれ元気に立つ児童。これから楽しい学校生活が始まります。今年度町内の公立幼稚園、小中学校の入園入学人数は、幼稚園177人・小学校295人・中学校252人です。



学力向上への方程式=学校+家庭+地域

学びの環境づくりは、 学校・家庭・地域から

昨年4月に、小学5・6年生と中学2・3年生を対象に、学力調査を実施しました。

平成16年度に2学期制が始まって6年が経過しました。平成17年度の学力調査と比べ、学力の向上は見られるものの、見えてきた課題もあります。

そこで今年度、日出町教育委員会では、「学力向上推進計画」を策定しました。

この計画は、授業の改善策はもちろん、家庭での過ごし方や地域の方々との協力体制も盛り込んだものとなっています。

今月号では、昨年度実施された学力調査の公表とともに、これからの学力向上の取り組みについて報告します。

教育環境の整備は喫緊の課題

平成20年10月1日現在、日出町の15歳未満の人口比率は県内トップです。また、県内でも数少ない人口増加の町でもあります。

これからも若い世代を取り込

み、発展しつづけるためには教育環境の整備は喫緊の課題といえます。

平成21年4月に実施された、「全国学力・学習状況調査」は、小学6年生と中学3年生の全児童生徒を対象に、また、県が実施した「基礎・基本定着状況調査」では小学5年生と中学2年生の全児童生徒



を対象に行われました。

これらの調査では、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育施策の指針を定めるために行われたもので、国語や算数などの教科に関する調査と、生活習慣や学習環境等に関する調査が行われました。

次ページの表は、昨年度行われ

学年別の平均正答率

中学校2年生	国語	数学	英語
日出町	68.8	64.7	73.4
全国	66.2	62.3	69.4

小学校5年生	国語	算数
日出町	71.0	79.8
全国	70.4	77.9

中学校3年生	国語知識	国語活用	数学知識	数学活用
日出町	75.9	71.5	63.6	54.3
全国	77.0	74.5	62.7	56.9

小学校6年生	国語知識	国語活用	算数知識	算数活用
日出町	69.9	46.4	79.8	50.7
全国	69.9	50.5	78.7	54.8

た学力調査での学年別の平均正答率を示したものです。

小学5年生では、国語、算数ともに全国平均を上回っています。6年生では、国語と算数の「知識」に関する問題では全国平均もしくはそれ以上の正答率ですが、課題解決のための構想を考える力に関する「活用」の問題で、2教科とも全国平均を下回っています。

また、中学2年生では、国語、数学、英語の3教科とも全国平均を上回っているにも関わらず、3年生では、数学の「知識」に関する問題以外では、全国平均を下回る結果となりました。

生活習慣と学力にはどのような関係があるのか

調査では、就寝時刻や起床時刻、朝食を食べているかなどの調査も行われました。

これらを、学力テストと照らし合わせてみると小学6年生では、次のようなことが分かりました。

まず、就寝時刻については、11時を過ぎると正答率が低くなっていることが分かりました。

起床時刻では、国語も算数も朝

朝食でこんなにも学力に差が！

小学校6年生	国語A	国語B	算数A	算数B
食べている	71.4	47.9	81.1	52.1
食べていない	30.6	20.0	61.1	10.7

中学3年生	国語A	国語B	数学A	数学B
食べている	77.5	74.1	64.3	56.0
食べていない	61.8	58.2	60.0	41.3

7時までに起きる人の正答率が高く、7時30分以降に起きる人では、かなりの正答率の低下が見られました。

また、朝食を食べている人と比べ食べていない人では、小学生、中学生とも正答率が低く、特に、小学生では大きな学力の差があることが分かりました。(右表)

家庭での学習状況や生活習慣を見ると、小学生の学習時間は全国平均以下で、中学生では授業の予習の割合がかなり低くなっています。

す。他にも、小学生ではテレビやゲーム、インターネットをする時間が全国平均を上回っています。

学力向上には、学校、家庭、地域の連携が不可欠

学力向上には、授業の改善を行い分かりやすい授業を行うとともに、児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた指導をすることが必要です。

しかし、生活習慣と学力には密接な関係があることから、家庭での規則正しい生活、そしてテレビを見たりゲームをすることなどについて、家庭でのルールを決めていただくという協力も必要です。

また、地域の協力としては、今年度から「学校支援地域本部事業」の体制を整えます。これは、地域住民のボランティアにより、授業の補助や校外学習の引率補助などをしていただくものです。

このように、学力向上には、学校・家庭・地域が連携し取り組んでいくことが大事なのです。

そこで、今年度「日出町学力向上推進計画」を策定し、それぞれの役割を明確にしました。



学力向上への方程式= 学校+家庭+地域



日出町教育長 石尾 潤治

子どもたちを育てる環境 づくりは、身近にいる私た ち大人の責務なのです

日出町では、平成16年度から2学期制を導入しています。これは、平成14年度から学校週5日制が始まったことで授業時間が減少し、それに伴う学力低下が心配されたためです。2学期制は、授業時間数の確保、そして教師が子どもたちと向き合う時間を確保するためにも、大変

意味のあるものです。

これまで、この2学期制を土台にし、小・中学校の学力向上に向けて指導計画の見直しや学習指導の工夫・改善など、さまざまな取り組みを続けてきました。その結果、学力は着実に向上し、県下でも注目される成果を挙げてきました。しかし、まだまだ課題は山積んでいます。

21世紀は「知識基盤社会」の時代といわれているように、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる分野で新しい知識や情報、技術が求められています。

さらに、平成23年度からは小学校で、平成24年度からは中学校で新たな学習指導要領が実施されます。

これにより授業で扱う指導内容が増え、授業時間も増加するため、教師が子どもたちと向き合う時間が減り、一人ひとりに対するきめ細かな指導が難しくなるのではないかと心配されます。

目まぐるしく変化する教育環境の中で、もはや学校だけでは十分な対応ができない状況となりつつあります。

そこで、今年度から、学校支援ボランティアの募集を始めます。

学校支援ボランティアの活動は学習補助や校外活動の引率、専門知識を生かした子どもたちへの指導など、教師の補助的な役割を担っていただきます。

そうすることで、教師は授業に専念でき、時間的な余裕も生まれ、子どもたちと向き合う時間が増えるのです。もちろん教師もより分かりやすい授業を行う努力が必要です。そのために、学力向上支援員の配置や指導主事による授業への支援を強化し、授業力向上に力を入れていきます。

また、放課後子ども支援にも取り組みます。

しかし、学校や地域の方々でできることには限界があります。やはり、家庭における保護者の協力が欠かせません。基本的な生活習慣や家庭学習の習慣づくりは、保護者の役割です。その上で、子どもたちの成長をあなたたかく見守っていただきたいと思えます。

目の前に立ちただかる壁はとても大きなものです。学校、地域、家庭がともに協力しなければ、とても乗り越えることはできません。

子どもたちを育てる環境づくりは、身近にいる私たち大人の責務なのです。

学力向上推進計画

教育委員会・学校・家庭・地域／それぞれの役割を明確に

今年度、日出町教育委員会では、昨年行われた「全国学力・学習状況調査」と「基礎・基本定着状況調査」の結果をもとに日出町学力向上推進計画を策定しました。

この計画では、今後の学力調査における目標数値を示すとともに、これを達成するための学校や家庭、地域での役割を明確にしました。主なものは次のとおりです。

教育委員会としての取り組み

- **特別支援教育支援員を配置**
発達障害のある児童生徒への対応強化。
- **学校支援地域本部事業**
地域の方のボランティアによる学習補助などの人材を確保します。
- **学力向上支援員を計画的に配置**
授業力向上のための支援を行います。
- **小学校英語活動の充実**
- **指導主事による授業力向上の指導**

学校としての取り組み

- **「活用力」を高める**
学力テストでは、活用力の低さが目立ちました。そのため、基礎的学力の向上はもちろんですが、それぞれの教科の知識を関連付けながら課題の解決をしていけるように、レポートの作成や論述などを取り入れます。
- **指導力向上**
教員同士で授業を見せ合い、意見交換をしながら相互で評価します。
また、他校の教員を含めた授業研究会を行います。
- **学習の基盤づくり**
「学習時の姿勢」や「話し方、聞き方」のルールを定めた「学習のきまり」を作成し、学校内で取り組みます。
- **個別指導を充実**
授業に対するつまづきには、早期の解消が必要であり、いつでも相談にのれる時間や場所を設けます。また、小学校4・5年生の希望者に対しては夏休み中の個別指導を行います。

家庭での取り組み

- **10 (11) - 7 - 1 運動**
生活習慣と学力には密接な関係があることから、規則正しい生活を送れるように、小学生は10時、中学生は11時までに寝て、7時までに起き朝食にお茶碗1杯（食パン1枚）を食べようという取り組みです。
- **家庭での学習習慣づくり**
家庭での学習の仕方などを示した「家庭学習のすすめ」を学校で作成し、活用していただきます。
- **ルールづくり**
テレビを見る時間やゲームをする時間が長いため、家庭学習の時間や家族の団らん時間がとれないという実態があります。そのため、テレビやゲームは1日2時間以内などのルールづくりを家庭内でしましょう。

地域での取り組み

- **学校における学習支援**
学習補助やパソコン・地域の歴史などの学習支援、校外学習の引率など。
- **放課後子ども支援**
放課後子ども教室や放課後学習サポートなどを行います。

「また来てください」なんて言われるとうれしくなります。と話すのは、豊岡小学校で学習支援ボランティアをしている宮本久枝さんです。ボランティアを始めて6年目になります。

「私が子どもの頃は、家族も多かったし、地域の方と接する機会も多くあり、周囲の方たちに育ててもらったというイメージがあります」と話す宮本さん。最近では核家族が進み、親も仕事で忙しく、子どもたちは大人と接する時間が減ってきています。宮本さんには中学生のお子さんが1人います。「自分の子どものことを考えたとき、できるだけ多くの方とふれあう機会を増やしてあげたい。親では気づかないことも周囲の大人が気づいてあげられることもあると思う」。地域全体で子どもたちを支えていかなければいけないという思いがあつて学習支援ボランティアにも参加しました。

まず学校から支援要請の電話連絡があり、その後、授業内容や指導するにあたっての重点項目が書かれたFAXが送られてきます。

「高学年の算数の授業になると結構難しい問題もあるんです。私も予習して授業に臨むんですよ」と笑う宮本さん。脳の活性化にもつながり、楽しみながら参加しているそうです。

今年度から、町内の各小学校に学習支援ボランティアを配置します。そのための人材を現在募集中です。

豊岡小学校では、他校に先がけて、平成16年度から学習支援ボランティア制度を導入しています。

では、豊岡小学校では、ボランティアの方が学校でどのような活動を行っているのか、実際に学習ボランティアとして活動している宮本さんにお話を伺いました。また、宮本さんには1人の子の親として、地域に住む住民として、子どもの接し方などについても話を伺いました。



豊岡小学校学習支援ボランティア
宮本 久枝さん

はげます言葉が子どものやる気につながります

ボランティアはあくまでも先生のお手伝い的な存在です。先生と違った教え方をしてはいけません。

授業前、先生との打ち合わせも大事です。

算数の授業では、テストの採点

や問題を解くヒントなどを与えたりします。「問題をもう一度よく見てみよう」、「100点すごいねー」など声をかけてあげるように心がけています。「次は100点とりまじ」頼もしい言葉も返ってきます。子どもたちは外部の人にほめられることが、うれしいのだと思います。「人に認められた、次がんばろう」って。

他にも、学習支援ボランティアの活動は、家庭科や料理の授業、体育、校外学習の引率などさまざま。特別な資格は必要ありません。

学習補助をすることで、先生にも時間的な余裕が生まれ、その時間を授業につまずいている児童への指導時間にあてることができるなどのメリットもあります。

「学校では、元氣よくあいさつし笑顔で接しています。まず大人が示さないと子どもはついてきません」と話す宮本さん。最後にこう続けます。「なんでも学校で教えるのが当然という保護者がいるけど、それは違うと思います。家族の困らんの中で子どもはやさしさや道徳を学んでいくもの。忙しいのは分かるけど、少しの時間でもいい、子どもと話す時間をつくってもらいたい。それだけで、子どもに安心感を与えられることができるのだから」。



学力向上への方程式=学校+家庭+地域

学校支援ボランティアを募集

「学校支援地域本部事業」

地域で支える協育ネットワーク

学校支援地域本部は、学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校支援ボランティアなどへの参加をコーディネートするもので、いわば「地域につくられた学校の応援団」といえます。

これまでも各学校、各地域で、地域の方々にさまざまな形で協力していただきながら学校運営や教育活動を行ってきましたが、学校支援地域本部は、そうした取り組みの延長線上にあるといえます。すなわち、地域住民が学校を支援するというこれまでの取り組みをさらに発展させて、学校の求めと地域の力をマッチングし、より効果的な学校支援を行うことで教育の充実を図ろうというものです。

支援していただく内容（一例）

学習補助

- 授業の補助
- 実験や実習の補助、準備
- テストの採点など

専門知識や経験を活かした講師

- 郷土芸能や文化の伝承
- 地区の歴史
- 読み聞かせ
- パソコンなど

技能を活かした施設維持整備の補助

- 水泳、調理、裁ほうの補助
- 校外学習の引率補助
- 花壇や植木のお世話など

安全・安心の補助

- 登下校時のパトロール
- 校外学習の安全管理など

ボランティアの登録／問合せ 生涯学習課 ☎ 73 - 3156

生涯学習課に登録申請書を備え付けています。

*活動は交通費を含め無償が原則です。

*学校からの要請があり次第ボランティアをお願いしますので、必ず活動要請があるとは限りません。

観光の拠点

「二の丸館」完成

観光客の受け入れ体制整う 地域住民の憩いの場としても

暘谷城趾周辺には、歴史的風情が多く残るとともに、別府湾を一望できる日出町の代表的な観光資源です。現在、城趾周辺に歴史的風情あるまち並みを蘇らせようと整備を進めており、完成すれば観光客の増加が見込まれます。

そこで、観光客の休憩の場として、また地域住民の憩いの場として利用していただけるよう、「二の丸館」^{やかた}を建設しました。

城趾周辺を 歴史的風情あるまち並みへ

日出町は、江戸時代に形成された城下町の風情を受け継ぎ、武家屋敷や商家のなごりを留める家々、城内を区割りした道路など、400年を越える長い年月が過ぎた今もなお、その歴史的景観が強く息づいています。

町では、これらを次の世代に継承するとともに、城趾周辺を

日出町の歴史エリアと位置づけ、道路整備や「二の丸館」の建設、歴史的に非常に価値の高い「裏門櫓」の復元や「隅櫓」の移築などを行い、交流人口を増やすとともに、日出町の観光の拠点づくりを行っています。

観光客受け入れ体制の確保

これまで、観光客のための観光案内施設やトイレ、休憩施設等が整備されておらず、受け入





写真上：復元した裏門櫓
 写真右：二の丸館内
 写真左：移築後の隅櫓
 (予定図)



れ体制が十分ではありませんでした。

数年前から、簡易な観光案内所の整備を行うなどしてきましましたが、現在進めている城趾周辺整備により、観光客の増加が見込まれます。

「二の丸館」に観光案内や地域特産品の販売、軽食喫茶、休憩所、トイレ、駐車場を整備することで、誰もが気軽に訪れることができる交流スペースを確保しました。

まちの観光の拠点づくり

●観光案内スペース

観光案内所を移し、観光の各種情報やパンフレットを提供するとともに、観光ボランティアを配置し、日出町の観光の拠点とします。

●地域特産品販売コーナー

日出焼・かれい最中・豊後別府湾ちりめん等の代表的な特産品を販売し、建物の外では朝市なども開催していきます。



整備途中の大手門通り

また、地域特産品を使った新たな製品のアンテナショップ的な機能も果たしていきます。

●軽食喫茶コーナー

来訪者が気軽に立ち寄り、軽食をとったり休息できるよう、メニューにも配慮した軽食喫茶コーナーを設けました。

●駐車場を確保

バス3台、普通車12台分の駐車場を整備しました。

●休憩スペース

来訪者のための休憩スペースを設けます。

また、町民が作成した芸術作品や写真などを展示する、ギャラリースペースとしても活用します。

●レンタサイクル

町内を自由に散策できるように、自転車を貸し出します。

●裏門櫓の復元

貴重な歴史的建造物である「裏門櫓」を復元し、歴史展示物を含め、文化的要素の高い作品を展示します。

今後の城趾周辺整備

今後、万里図書館の敷地内に「隅櫓」を移築し、大手門通りの舗装工事などを進め、城趾にふさわしい景観として生まれ変わります。住民の憩いの場として、また江戸時代の雰囲気を感じることで、多くの観光客の訪れを期待します。

出生・死亡・死産・死産・婚姻・離婚の届出をされる方へ

届出の際には、職種の記入をお願いします

厚生労働省では、国勢調査の行われる年（今年10月に実施）には、「人口動態職業・産業調査」を実施しています。

住民課で、「出生・死亡・死産・婚姻・離婚」の届出をされる場合には、職種の記入をお願いします。

また、死亡届を提出する場合には、産業もあわせて記入していただきます。

■調査期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日まで

■調査対象

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をされる方。

■問合せ先 住民課戸籍係

☎ 73 - 3122

耕地災害復旧事業等助成制度



イメージ写真

集中豪雨等により農業用施設や農地畦畔等が被災した場合、耕地災害復旧事業等の助成制度があります。

■問合せ先 農林水産課
耕地林業水産係
☎ 73 - 3127

ふれあい農園利用者募集

野菜や花づくりのための農園をお貸しします

昨年オープンした「ふれあい農園」（20区画）では、利用者の方々が工夫をこらし、野菜や花などを栽培しています。

今回2区画の空きができましたので募集します。

■農園の場所

日出町大字川崎438番地1

■区画面積 42・5㎡／1区画

(5m×8・5m)

■募集区画 2区画

■申込期限

5月20日（木）（申込多数の場合は抽選。ただし、申込期限を過ぎても空きがある場合は、随時申し込みを受け付けます）

■利用期間

平成23年3月まで

*1年更新で最長5年

■利用料金

6,000円／年

*年度途中からの利用は月割

■園内設備

水道・駐車場・簡易倉庫

■利用上の注意

- 営利目的の作物栽培は不可。
- 野菜、草花などの栽培のみで、永年性（花木・果樹園）の栽培や建物工作物等の設置はできません。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。

■申込・問合せ先

農林水産課農業振興係
☎ 73 - 3127

町営住宅入居者を募集します

■仁王住宅1戸（1階）

- 住所 日出町970番地
- 構造 中層耐火構造
- 家賃 17,700円
- 駐車場 26,300円
- 駐車場 1台（無料）
- *浴槽・ボイラーは完備。下水道設備有。

■豊岡住宅2戸（1・3階）

- 住所 豊岡6060番地29
- 構造 中層耐火構造
- 家賃 14,100円
- 駐車場 21,800円
- 駐車場 1台（無料）
- *浴槽、ボイラーは入居者負担。下水道設備有。

■青津山住宅1戸

- 住所 川崎4984番地
- 構造 簡易耐火構造2階建
- 家賃 9,200円
- 駐車場 13,700円
- 駐車場 1台（無料）
- *浴槽、ボイラーは入居者負担。トイレは汲取り式。

■藤原住宅1戸

- 住所 藤原444番地5

- 構造 簡易耐火構造2階建
- 家賃 10,000円
- 駐車場 14,900円
- 駐車場 1台（無料）
- *浴槽、ボイラーは入居者負担。トイレは汲取り式。

■募集期間

5月6日（木）～5月21日（金）

■抽選日

5月28日（金）10時
役場新館3階332会議室

■応募資格

- 次のすべてに該当する方。
- 町内に住所を有するか勤務先が町内にあること。
- 入居者の合算所得が年額1,896,000円以下であること。
- 税金の滞納がないこと。
- 入居者名義の持家がないこと。
- 独立していて、他の者の扶養に入っていないこと。
- 住宅に困っていること。
- 入居者が暴力団ではないこと。

■申込・問合せ先

都市建設課管理
☎ 73-3172

狂犬病予防注射

予防注射は 毎年1回の義務です

生後91日以上の犬は、生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。そこで、集合注射を実施しますので、犬を飼われている人は参加してください。

■実施期間

5月10日（月）～14日（金）の5日間

■実施場所

町内の公民館など22カ所の内、どこの会場でも受けることができます。

*注射は動物病院でも受けることができます。

*詳細は、4月中旬の回覧でお知らせしています。また、ホームページにも掲載しています。

*すでに犬の登録をされている方には、ハガキで案内を送りますので会場に持参してください。

■問合せ先

生活環境課 ☎ 73-3128

65歳未満の年金受給者で給与所得のある方へ

年金所得に係る住民税も給与から天引きされます

65歳未満で給与から住民税が特別徴収（天引き）される方は、6月から年金分の住民税もまとめて給与から天引きされるようになります。

■ 問合せ先 税務課住民税係 ☎ 73-3123

知っておきたい町政情報

国勢調査にご協力ください

本年10月に、国勢調査を実施します②

あわせて、調査員を募集します

本年10月に「国勢調査」を実施します。国勢調査は、日本に住んでいるすべての人や世帯を対象とする国の最も基本的な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに実施されます。

調査は国勢調査員が調査票を世帯ごとに配布し、調査員または町に直接調査票を提出していただきます。国勢調査へのご理解ご協力をお願いします。

調査結果の活用方法

■法定人口として利用

衆議院議員の小選挙区の画定基準、都道府県、市町村議会の議員定数の決定、地方交付税の算定基準となります。

■行政施策の基礎資料として利用

保育所の整備・充実など安心して子どもを生み育てる環境の整備、少子化対策、高齢者福祉施策の基礎資料となります。

■学術、教育、民間など幅広い分野で利用

人口学、地理学、将来人口の推計の基礎資料。

「国勢調査」や、そのほか国が行う統計調査の調査員を募集します

■登録要件

原則として20歳以上の日出町民で、守秘義務を守れる方。

■申込方法

印鑑を持参のうえ、総務課広報広聴係までお越しください。

■申込期限

6月18日（金）

■業務内容

●問合せ先

総務課広報広聴係
☎73-3150

調査対象の世帯・事業所などに調査票を配布・回収します。

■報酬

1調査あたり約3〜5万円程度（調査によって異なります）
調査員業務は年間を通じて従事するものではないため、定期的な収入は見込めません。

なお、統計調査は年間2〜4回ほど実施されます。

■実施予定の統計調査

○国勢調査（9月〜10月）
○工業統計調査（12月〜1月）
*すべての調査をしなければいけないというものではありません。

町議会議員決まる

3月28日、日出町議会議員一般選挙が行われ、新人3人を含む16人の議員が選ばれました。

【当選議員は次のとおり】

(敬称略・50音順)

- | | |
|--------|--------|
| ●安部 三郎 | ●池田 淳子 |
| ●上野 公則 | ●笠置 久夫 |
| ●工藤 健次 | ●熊谷 健作 |
| ●後藤 佑 | ●佐藤 克幸 |
| ●佐藤 二郎 | ●佐藤 隆信 |
| ●佐野 故雄 | ●城 美津夫 |
| ●白水 昭義 | ●田原 忠一 |
| ●藤井 博幸 | ●森 昭人 |

4月14日、臨時議会が開かれ、議長と副議長が決まりました。

議長 城 美津夫

副議長 後藤 佑

電気防護柵設置補助制度 農産物を鳥獣被害から守る

イノシシによる農産物被害防止のために設置する、電気柵の購入に対し補助を行います。

■条件 農林業を営む方／町税等の滞納がない方／昨年度補助対象者でないこと／税込み6万3千円以上の柵を購入すること／補助金の交付決定通知後に購入、設置すること／本体、電線、ガイシ、絶縁杭等をセツトで購入すること

■補助金 4万2千円

■受付期間 5月20日(木)～6月10日(木)

■申込方法 印鑑を持参のうえ、農林水産課にお越しください。

■補助対象数 10セツト(1人1セツトに限ります) 申込多数の場合は抽選(ただし、過去に補助を受けた方は除きます)

■問合せ 農林水産課耕地林業水産係 ☎73-3127

第25回 城下かれい祭り

●開催日 5月8日(土)・9日(日)

●場 所 陽谷城趾周辺

●駐車場 日出陽谷高校跡地

(無料シャトルバス有)

主なイベント内容

ヘリコプター遊覧飛行(両日)／別府湾クルージング(両日)／漁師の味ひろば(両日)／農業見学ミニツアー(両日)／ハーモニーランドミニショー(9日)／花火大会(8日)20時から／城下かれい祭り25周年記念杯争奪カラオケ大会(8日)／河内明美オンステージ(8日)／速水映人「2010 E i t o歌舞翔」(9日)／城下かれいミニ懐石賞味会(両日)／城下まち歩き(両日)

*雨天の場合、花火は9日に延期。

城下かれいミニ懐石賞味会

城下かれい料理を専門店にてお手ごろ価格でご賞味いただけます。

●食事券販売 両日とも9時～
日出小学校グラウンド

●料金 2,500円
(刺身・煮付け・酔の物・吸い物・ご飯)

●販売数 1日400食

●参加店 幸喜屋／能良玄家／帯刀の庄／膳のえぐち

*1人につき1食分の食事券を販売。

●問合せ 城下かれい祭り実行委員会事務局
商工観光課 ☎73-3158

TOWN TOPICS

消防庁長官表彰伝達式 消防団団長辞令交付式 地域の安全・安心を守る

消防庁長官表彰伝達式

日出町消防団副団長の中村健治さんが、33年の長年にわた



消防庁長官表彰を受賞した中村さん(中)と安部団長(右)

り消防団活動に尽力したとして、消防庁長官表彰を受賞され、4月2日、伝達式が行われました。工藤町長がこれまでの消防団活動を称え、表彰状と勲章を手渡すと、中村さんが「団員として最高の賞をいただき光栄です。これからも地域の安全安心を守るためにがんばりたい」と決意を述べました。

消防団団長辞令交付式

同日、日出町消防団団長の辞令交付式が行われ、工藤町長が「日出町消防団の一層の活躍をお願いします」と、安部慎太郎さんに辞令を交付し、安部団長が「団員一致団結し、任務にあたります」と決意表明しました。

交通指導員委嘱状交付式 交通事故撲滅を目指す



委嘱状を交付された交通指導員

4月2日、日出町交通指導員の委嘱状交付式が行われ、新たに指導員になった2人を含む合計13人に委嘱状が交付されました。

交通指導員を代表して、帯刀均二さんが「交通事故撲滅を目指すし、明るいまちづくりに貢献します」と決意表明しました。

マコカレイの稚魚受け入れ かれい祭りで放流

4月22日、27日の両日、大分県漁業公社からマコカレイの稚魚を受け入れました。

稚魚は、日出町中間育成場で、5cm程度の大きさまで成長させ、城下かれい祭りの日に別府湾に放流します。

これは、漁獲量が減少している「城下カレイ」の増産が目的で毎年行われており、今年は2日間で、およそ11万匹の稚魚を受け入れました。ほかにも日出町では、マ



育成場の水槽へ稚魚を入れる県の職員

コガレイの増産に向けた取り組みとして、海中で大きな魚から身を守るための海草(アマモ)を別府湾に再生しようと、研究を重ねています。

健康子育て

●休日当番医

※診療時間 9:00~17:00

※発行後に変更になる場合があります。各医療機関や日出町健康増進課☎73-3130にご確認ください。

5月2日(日)	岡田内科クリニック	28-0101
3日(月)	日出中央医院	72-2534
4日(火)	日出児玉病院	72-2724
5日(水)	八重眼科医院	73-1221
9日(日)	鈴木病院	73-2131
16日(日)	てしまこどもの杜クリニック	28-0870
23日(日)	川崎診療所	28-1611
30日(日)	サンライズ酒井病院	72-2266
6月6日(日)	日出児玉病院	72-2724

みんなで楽しく健康づくり

普段の生活の中で健康づくりに取り組んでみませんか。各地区の健康づくり推進員が、地区の方とともに楽しく健康づくりをするための、さまざまな活動を行っています。これまで、健康講演会や栄養教室、グラウンドゴルフなどを実施しています。今年度も、健康づくり推進員の呼びかけにより、健康づくりのためのイベントを開催します。みなさんの地区で開催する場合には、ぜひ参加してください。

■問合先 健康増進課長寿健康係
☎73-3130

高齢者の介護相談

地域包括支援センターは、高齢者の暮らしを支えるために設置されています。

そこで、「かれい祭り」の初日に、在宅高齢者が住みなれた地域で安心して過ごせるように、ケマネジャーや社会福祉士が高齢者の介護相談を行います。

また、当日は福祉用具展示車に来て、福祉用具に触れたり、体験したりできます。

■とき 5月8日(土) 10時~15時

介護予防出前講座



介護予防普及啓発事業として、介護予防出前講座を実施しています。

町職員や健康運動普及推進員が地区の公民館に出向き、介護予防のための講演、家庭でできる健康体操やストレッチの紹介をします。また、希望によっては後日健康相談を実施し、健康講話や血圧測定、検尿などを行います。

- 対象 40歳以上
- 申込 地区単位で申し込んでください。
- 申込・問合先 健康増進課長寿健康係
☎73-3130

日本脳炎 第1期定期予防接種

平成17年から日本脳炎の予防接種については積極的な勧奨を控えていましたが、平成22年4月から、第1期定期予防接種の対象となる人(生後6カ月から7歳5カ月までのお子さん)に対しては、

■ところ 萬里図書館駐車場
■問合先 地域包括支援センター
健康増進課内☎73-3115

積極的な勧奨を行うようになりしました。

接種にあたっては、かかりつけ医とよく相談してください。

*厚生労働省ホームページ「日本脳炎ワクチン接種に係るQ&A」を参考にしてください。

*第2期対象者(9歳から13歳未満の人)には、現在接種できるワクチンがないため、予防接種を受けることはできません。

■問合先 福祉対策課子育て支援係
☎73-3121

肝炎治療に対する 医療費助成

県では、肝炎治療を受けている人を対象に医療費の助成を行っています。

- 対象医療 インターフェロン治療・B型肝炎ウイルス慢性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療
- 自己負担 原則として月額10,000円
- 手続方法 保健所に次の書類を添えて申請してください。
交付申請書／医師の診断書／健康保険証の写し／世帯全員の住民票の写し／世帯全員の町民税

- 課税証明書
- 問合せ 東部保健所 ☎67-2511

肝炎ウイルス無料検査

県では、ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療を促進するために、B型・C型肝炎ウイルスの無料検査を実施します。

- 対象 肝炎ウイルス検査を受けたことのない人。
- 受診場所
○保健所（予約が必要）
○医療機関（肝炎ウイルス検査受

- 診票が必要)
- 問合せ 東部保健所 ☎67-2511

離乳食教室

離乳食に関する相談や試食などを行う教室です。離乳食の始め方や進め方を学びます。ぜひ、お子さんと一緒に参加してください。

- とき 6月8日(火) 10時30分～11時30分
- ところ 町保健福祉センター
- 対象 離乳食期（1歳6カ月頃まで）

- 問合せ 福祉対策課子育て支援係 ☎73-3121

両親学級を開催

妊婦さんとその家族を対象に、妊娠・出産・育児についての知識や関心を深めるために両親学級を開催します。

- とき 6月27日(日) 10時～11時30分
- ところ 町保健福祉センター
- 申込期限 6月17日(木)
- 申込・問合せ 福祉対策課子育て支援係 ☎73-3121

児童館へおいで！

日出町児童館 ☎72-0323

- 集団積み木遊び(小学生低学年)
とき 5月19日(水)15時～16時30分
- 親子リトミック教室(乳幼児)
とき 5月11日(火)11時～12時(要申込)
*ボールを持って来て下さい。
- たのしい絵本読み聞かせ(乳幼児)
とき 5月21日(金)11時15分～11時45分

さざんか児童館 ☎72-8383

- 親子グループ募集
5月の活動 ○ひよこグループ(0、1歳児)11日・25日 ○ぱんだグループ(3～5歳児)12日・28日 ○うさぎグループ(2歳児)13日・27日
- 赤ちゃん広場(0歳児)・1組 200円
とき 14日(金)10時30分～(要申込)
- 子どもを守る勉強会(15日までに要申込)
とき 18日(火)10時～12時
- 集まれ!ちびっこ
とき 24日(月)10時30分～
ところ 町中央公民館

日出町地域子育て支援センター ☎28-1212

- 子育て広場(乳幼児)
とき 月～金 9時～16時
- 子育て相談(乳幼児)
とき 月～金 9時～16時
- 出張子育て広場(0歳～就学前まで)
とき 5月12日(水)10時～12時
ところ 町中央公民館1階和室
- 赤ちゃん広場(0歳～)
とき 5月7日(金)・20日(木) 10時～12時

城趾周辺観光の拠点施設が完成

建設中の「二の丸館」は4月28日、城趾周辺の観光や散策の中心的施設として完成し、開館の運びとなりました。敷地面積1633・37㎡に大型バス、普通乗用車等の駐車場を備え、多目的トイレ、洗面所等も設けられています。

二の丸館は重厚な和風建築で、内部は観光案内所、観光ポスター・パネル展示、土産・特産品の販売、喫茶、休憩用施設となっています。

周囲に平屋建て裏門櫓、裏門、その中に和風庭園を配し、往時を偲ぶ城下町の雰囲気たたくすまいの空間として、多くの皆さんの憩いの場、交流の場となるよう期待しています。

また、小学校前の大手前通りは、電線や電話線を地下に埋設し、歩道と車道を区分して、11基の灯ろうで明かりを灯しています。また、町中央公民館前に設置されました楽聖瀧廉太郎の銅像を、荒城の月の作曲者にふさわしいよう城趾公園内に移設しました。

今年度中には役場前から大手前通り全体を舗装整備し、さらに文化財として評価の高い隅櫓の復元にも着手します。

年度中の人口は31人の増加

最近の報道を見ると、人口推計で日本の総人口は前年比で18万3千人の減少、大分県の総人口は119万5千人、前年比5千人の減と報じられています。

す。

日出町における3月末現在の人口は、2万8,563人で、前年比31人の増でありました。18年度1511人、19年度281人、20年度109人の増でありました。

これまで日出町は人口増加の町といわれてきましたが、最近の景気低迷で大幅な人口減も予想される中、最終的には辛うじて31人の増加をみました。男女別構成では、男性1万3,66

その④1

町政だより



日出町長
工藤 義見

5人(47・8%)、女性1万4,898人(52・2%)となっており、女性が1,233人多くなっています。

21年度は死亡者が出生を上回り、また20年度の転入者1,436人対して21年度の転入者1,228人と前年度と比べかなり少なくなっています。

また、65歳以上の人口は6,814人、高齢化率は23・86%で、前年度より0・15%増加しており、高齢化率は年々高くなっています。

さらに、介護保険認定者は男性375人、女性967人で合計1,342人、前年度より56人(4・4%)増加しており、特徴的なことは介護保険認定者の72%が女性で占められているということです。

老人クラブの現況

新年度に入り各種団体の総会が開催されており、ご案内をいただいたところには出席し、ご挨拶とあわせて町政の現況を報告しています。

それぞれの団体では1年間の活動の報告がなされ、今後の事業計画を審議し決定しています。そしていずれの組織においてもその目的に向けて意欲的な活動が行われ、また町政に対しても力強く支援、協力をいただいております。

その中で、各地区の老人クラブ連合会からも総会のご案内があり出席しています。現在、町内には60の老人クラブがあり、日出、豊岡・南端、大神、川崎、藤原の5地区の連合会を結成し、さらにこれが一本化して日出町老人クラブ連合会となっています。

会員数は3,447人であり、65歳以上の人口6,814人からみると50・6%にあたり、対象者の半数が参加していることとなります。

役員の方々に老人クラブの課題をお聞きすると、多くの方が「行事が多すぎる」、「役員になり手が少ない」と言い、老人クラブの運営が難しくなっている指摘しています。町内には77の自治区がありますが、最近廃止また

は休止しているところも出てきています。

高齢者皆さんのパワーに乾杯

高齢であつても元気に活躍されている人は多い。聖露加国際病院理事長の日野原重明(1911年生まれ)先生は高齢なのに講演や医療活動に励んでいます。先生の「病んでこそ知る」、「老いてこそ始まる」の言葉に触発、発奮して仕事に励んでいる人も多いとか。

作家の堺屋太一さんは「嫌老」から「好老」と言っておられます。

高齢、加齢が進むにつれ老人層が厚くなり、社会全体の主要な構成員となつてさまざまな分野で活動をしています。子どもも成長し、ゆとりもでき、自由の身になって地域という舞台上に登場してきています。

長寿社会になつて、例え一旦は引退してもまだまだこれからだと第二、第三の人生に挑戦、住み慣れた地域社会に再登場の大活躍です。

日出町では他地区からの転入者も増加の一途をたどりまして、長い人生を生き抜いた知識や経験をもつた人たちが多く、その意味合いからすると、まさに宝の山があちこちといった感じですよ。

私自身、仕事を退いてみて初めて知ることの如何に多いことか。再び町政にあつて「病んでこそ知る」、「老いてこそ始まる」の言葉の意をかみしめながら、「日々を過」しております。

「嫌老」から「好老」の社会的背景は着実に進展していると考えています。

(次号につづく)

歴史よもやま話 ②

～城下かれい祭りの歴史～

昭和5年、「別府新八景」投票で「日出城下海岸」が1位に選ばれた。また、木下謙次郎の著書「美味求真」で城下カレイの名は全国に広まった。県のカレイ増殖指導もあり、全国にカレイを宣伝しようと、昭和11年6月2日、当時の武内勢平町長・中島末吉商工会長らが発起人となって、「第1回鱧祭」が開催された。カレイ料理店である「月の家」や「吉虎」が独特のカレイ料理を出し、日出小学校校庭では、出店やもちまき、ステージの催し、海では竹いかだ乗りが行われ、大いに盛り上がった。やがて戦争が始まり中止された。



城下公園内にある鱧神社

その後の昭和30年、佐藤羊三郎氏が「鱧研究所」を設立し、ふ化や稚魚の育成について研究を重ねたが失敗を繰り返した。昭和43年、研究所前に「城下カレイ供養塔」を建て、カレイの供養をした。

昭和46年「鱧神社」を建立し、「城下鱧祭ゆかりの地」と書いた標柱を河野駿次氏が寄贈し、民間パワーで「城下鱧祭り」が再開されたが、この時の祭りは「カレイ供養と稚魚放流」を行う簡素なものだった。

昭和60年、羊三郎氏没後、当時の伊藤政雄町長が故人の遺志を受け継ぎ、昭和61年5月11日に、町で主催する「第1回城下かれい祭り」が始まった。

今年で、25回目の開催となる。

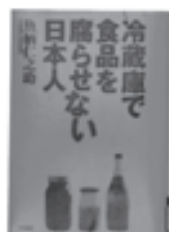
「日出町の歴史・文化」を語る会
魚住 修三 筆

図書館だより

新刊案内

「冷蔵庫で食品を腐 らせない日本人」

魚柄仁之助：著 大和書房



食品を冷蔵庫に入れる前のルールなど、食の安全に関する達人技を紹介。

「観光まちづくりと 地域資源活用」

総合観光学会：編
同文館出版



住民も観光客も楽しめる地域づくりのヒントや事例を紹介。

「葬式は、要らない」

島田裕巳：著 幻冬舎



日本人の死生観の変遷をたどりつつ、葬式の最新事情から、葬式無用の効用を紹介。

「14歳からの リアル防衛論」

小川和久：著 PHP研究所



日本の防衛と問題点を軍事アナリストが解説。

休館日

3日～5日・9日・10日・17日・23日・24日・27日・30日・31日

読み聞かせ

萬里図書館2階おはなしのへやで開催しています。

●ブーフーウーによる読み聞かせ

とき 5月8日(土)・22日(土)
10時30分～11時30分

対象 幼児から小学校低学年

●FUMUFUMU(ふむふむ)による読み聞かせ

とき 5月28日(金) 11時～11時30分

対象 0歳から5歳くらいまで

問合せ先

萬里図書館 72 - 2851

事件を裁判にかけてくれないなどの不満をお持ちの方は、ご相談ください。

▼問合先 大分檢察審査会事務局 ☎097・532・7161

特設人権相談所の開設

人権擁護委員が困りごとや心配ごと、人権問題などにつ

いての相談を受け付けます。

▼とき 6月1日(火) 10時

～15時

▼ところ 日出中央公民館

▼問合先 住民課 ☎73・3122

就職相談会

看護学生に県内就職を勧めるための情報を提供します。

▼とき 5月30日(日) 13時

～16時

▼ところ 大分県看護協会

▼対象者 県内の看護学生・保護者、潜在看護師など

▼問合先 (社) 大分県看護協会 ☎097・534・8118

看護系大学・看護専門学校への進路相談会

町民文芸

藤原 木付 順子

由緒ある的山荘の雛飾り
友と往時を偲びつつ見る

藤原 村岡 祥子

机の上の園きつばみの薔薇(輪
仕事に慣れぬわれに親しき

川崎 藤田 和子

寒堂のひと日ひと日を無事に過
ぎ 如月の曆丁寧に剥ぐ

川崎 立石 初子

庭の梅幹にうつろの深くして
ふくらむ蕾に雪降りかかる

日出 富来 信子

春めくや 足も軽々 宮参り

日出 定平 勝義

リハビリし 医師と薬は当にせず

日出 大野 仁五

夫婿杉 樹今千年 新芽出し

藤原 岸川 房子

ままごとの 腕に盛られて
花香る

▼対象者 中・高校生、一般の方々

▼とき 5月9日(日) 11時

～14時

▼ところ コンパルホール

○4Fアートルーム11時～12時10分(10時半開場)

○文化ホールロビー13時～14時(個別相談)

▼問合先 (社) 大分県看護協会 ☎097・534・8118

無料法律・人権相談

▼相談内容 人権、金銭、不

その他

気象庁からのお知らせ

気象庁では、5月27日(予定)から気象に関するすべての警報注意報を市町村ごとに発表します。

▼問合先 大分地方気象台防災業務課 ☎097・532・0644

感電事故防止について九州電力からのお知らせ

鯉のぼりの設置などで電線に触れそうなきは、事前に九州電力へご相談ください。

▼問合先 九州電力 ☎012・0・986・503

動産、雇用、交通事故、家庭内の問題など

▼相談員 弁護士

▼受付 9時30分～11時・13時～14時30分

▼とき 5月6日(木)

▼ところ 大分文化会館

▼問合先 大分地方裁判所 ☎097・532・7161



日出中央医院

診療科目 内科 外科(ペインクリニック)
胃腸内科 疼痛緩和内科 麻酔科

院長 佐登 宣仁 顧問 大西 詔治

入院施設有

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後2:00~5:30	○	○	往診	○	○	4:00	/
夜間5:30~7:00	/	○	/	/	○	/	/

夜間診療・訪問診療有 ☎0977-72-2534

住宅リフォームのことならおまかせください

住宅版エコポイント利用出来ます

一戸
当たり30万
ポイント



リフォームの
hikari

お気軽にご相談ください ☎0120-23-1724

信頼と実績でお客様に支えられ続けて 創業40周年
光綜合工業 株式会社
別府市石垣東8丁目1番13号

ビデオ上映会

「日出町出合おう会」が娯楽映画の上映会を無料で開催します。

「日出町出合おう会」とは、楽しいコミュニティをつくるために、地域での出会いやふれあいの場を創ろうと活動を始めた会です。

- 上映日 5月14日(金) 13時30分～
- ところ 川崎ふれあいセンター
- 費用 無料
- 問合せ 73-1282(丸山)

国民年金保険料が変更

平成22年4月から国民年金保険料は月額15,100円となりました。

納め忘れがあると、将来受け取る年金が少なくなったり、受け取れなくなったりする場合があります。

▼問合せ 住民課 ☎73-3122

単独処理浄化槽実態調査

生活排水による環境汚染対策の一環で、単独処理浄化槽についての実態調査を実施することとなりました。

この調査は、大分県から受託した業者等の調査員が訪問し、単独処理浄化槽の設置の有無等について調査します。で、ご協力をお願いします。

▼問合せ 大分県廃棄物対策課 ☎097-506-3126

県民すこやかスポーツ祭

県では、スポーツを通して生き生きとした県民を育成

し、地域や世代間の交流を深めるために、「県民すこやかスポーツ祭」を開催し、「インディアカ」や「3B体操」を実施します。

ぜひ、この機会に多くの町民の参加をお待ちしています。

「インディアカ」

▼とき 5月30日(日)

▼ところ 町営体育館

▼参加料 1チーム1,000円

▼申込期限 5月25日(火)

▼申込・問合せ 日出町インディアカ協会 ☎72-5010

「3B体操」

▼とき 5月23日(日)

▼ところ 町営体育館

▼参加料 1人300円

▼申込期限 5月23日(日)

▼申込・問合せ 日本3B体操協会大分県支部 ☎097-583-3649

求人

【正社員】

- ホテルフロント業務員1人
- 塾講師2人 ●無線通信エン

- ジニアリング1人 ●介護職3人 ●正・准看護師5人 ●医療事務1人 ●理学療法士1人 ●軽貨物自動車運転手2人 ●一般貨物自動車運転手2人 ●飲食販売員1人 ●営業事務4人 ●プラスチック成形工2人 ●経理事務員1人 ●屋根工事1人 ●新聞配達員1人 ●電子部品の組立2人 ●プラスチック成形加工の行程管理1人 ●清掃作業員2人

【パート】

- 特別支援教育支援員4人 ●調理員1人 ●清掃スタッフ3人 ●学校環境整備員2人 ●製造及び補助4人 ●製造工2人 ●和菓子の販売及び製造の手伝い1人 ●配膳3人 ●ベッドメイク3人 ●受付・医療事務1人 ●販売及び接客10人 ●食器洗浄員3人 ●商品出し2人 ●販売員1人 ●介護職3人 ●相談員1人 ●店員1人 ●製品検査員1人 ●検査オペレーター12人 ●成形オペレーター2人 ●薬剤師1人

お誕生おめでとう

() 内は保護者名・地区名

藤原 優翔(隆憲 太田)

腎臓内科 循環器科 内科 血液透析



医療法人 泰晋会

こうまつ 循環器科 クリニック

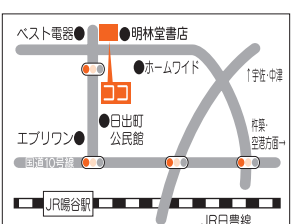
日本循環器学会認定 医学博士 院長 幸松晃正
循環器専門医

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	●	●	●
	休診日: 日曜・祝日					

速見郡日出町3852番地6ベスト電器前

☎(0977)73-0077

<http://koumatu.or.jp/>



消化器科・肛門科・外科・内科
泌尿器科・人工透析・リハビリテーション科

医療法人 久寿会



鈴木病院

速見郡日出町3904番6

TEL(代) 0977-73-2131

すずらんクリニック
介護施設すずらん

TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

遊ぼう!学ぼう!体験しよう!

「日出フレンドパーク」

会員募集

今、子どもたちに必要なことは「本物に触れること」「生きた体験をすること」です。

五感を使いありのままの自然に触れ、発見したり工夫したりする体験によって、好奇心や思考力、豊かな感情、想像力の基礎を培います。

「303クラブ」では、子どもたちの健やかな成長を願って、活動を行っていきます。

そこで、6月から毎月第1日曜日に次のような活動を実施しますので、ぜひ参加してください。

●活動日程(予定)

- 6月6日 いもの苗植え(開会式)・10時～12時
- 7月4日 草取りとレクリエーション
- 8月1日 草取りとレクリエーション
- 9月5日 歴史ウオーキング
- 10月3日 糸ヶ浜での収穫祭
- 11月7日 石垣もちを作ろう(閉会式)

●集合場所 川崎運動公園

●対象 町内在住の小学生とその保護者

●年会費 1家族1,000円(活動保険料含)

303クラブは、日出町社会福祉協議会主催の「シニア世代の活躍セミナー」に参加した有志が、子どもたちに自然の中でさまざまな体験をしてもらいたいとの思いで結成した会です。

●申込・問合せ 「303クラブ」

090-5292-3853

阿南 徠輝(誠影の木)
小松 蔵人(聡団地東)
渡邊 心海(貴志日出本町)
下城 遼空(智宏西八日市)
遠嶋 蒼空(亮佐尾)
渡邊 美春(隆久上仁王)
間部 和史(大東仁王)
武藤 晃(晃典東仁王)
佐藤はるか(修一堀)
河野伊吹(公崇南部)
中根 香織(洋樹南部)
元島さくら(慎介南部)
甲斐セイラ(秀司中部)
小西 なるな(達也自然郷)

村井 倫伯(勝伯平原)
伊吹 功一(功一内野)
陽翔(剛内野)
阿部 将兵(将兵内野)
阿部 董(将兵内野)
中川 毅(稔内野)
田代 杏華(貴士内野)
田代 稟華(貴士内野)
早水 里桜(茂樹内野)
田原 綾香(隼人内野)
田原 康太(清志軒の井)

谷武男(66堀)
安達峰登(80上仁王)
宮部 慎一(44日出中央)
石和 良子(84若宮)
石和 和佐男(90若宮)
森 敏成(76団地東)
福田 稔(75小浦)
西尾 豊(97中の二)
阿南 富次郎(87是城)
寺西 良雄(86柏川)
内は行年・地区名

阿部 昌子(91西部)
渡邊 スミ(85西部)
猪俣 俱臣(81宗行)
清原 君江(86宗行)
江藤 シゲコ(83平原)
白水 溢美(83北大神)
和田 数市(91大神中央)
上野 一人(83上深江)
上田 正人(82日比の浦)
藤原 行男(83原山)
児玉 康幸(76原山)
河野 忠(78照川)

※3月届出分(敬称略)

リフォーム・新築工事

既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
有限会社 樋口建設
樋口 浩 一級建築士事務所
一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎ 72-8486
http://www.higuchiy.com FAX 72-9595

一般歯科・矯正歯科・小児歯科

山下歯科医院

YAMASHITA DENTAL

日出陽谷駅前、サンライズ酒井病院よこ

診療時間
平日/ 9:00~13:00
15:00~19:30
土/ 9:00~13:00
14:30~18:00
休日/木・日・祝

子どものお口と歯ならびの健康相談会
毎土曜日15:00~17:00(要予約)

速見郡日出町3184番地
TEL.0977-28-0058

「何かに一生懸命に打ち込んでいる人」、「目標に向かって頑張っている人」などを紹介するコーナー「輝くひじ人」に掲載する人の情報をお待ちしています。

連絡先 総務課広報広聴係
☎ 73-3150
FAX 72-7294

「かれないなる日出町母親クラブらんらん♪」

誰もが住みやすい町に 地域 みんなで考えていきたい



陽谷駅スロープ化の署名を町長へ渡す渡部さんとらんらんのメンバー

No. 2

輝くひじ人

わたなべ 渡部 久美さん(39)

藤原自然郷

「カレイなる日出町母親クラブらんらん」(渡部会長)は、小さいお子さんをもつ家庭や障がい者、高齢者など、「誰もが住みやすい町づくり」を目指して活動を続けています。

以前渡部さんは、役場が主催する子育て支援事業の「元氣塾」に加入しており、ここでは、子育てのためのさまざまな情報発信や親子とのふれあいの場をつくるためのイベントなどを行っていました。

そんなとき、障がい者の支援団体の方などとの出会いがあり、「子育てという視点からだけではなく、障がい者や高齢者、誰もが、明るく楽しく住める町にしたい」と思うようになったそうです。これがきっかけとなり、平成20年11月、「カレイなる日出町母親クラブらんらん」を結成しました。現在は21人のメンバーで活動を行っています。

これまで、障がい者に対しての理解や関心をもってもらおうと、町内の小学生を対象に、アイマスクを着け視覚障がい者の体験などをしてもらう「福祉体験教室」や、ベビーカー世代の方や車椅子の方でも利用しやすい施設を紹介するなど工夫された町内地図「らんらんマップ」を作成するなど、忙しい毎日を送っているそうです。

他にも、親子のふれあいを目的としたいろいろなイベントなどを開催する中、現在は、陽谷駅のバリアフリー化に向けて活動を行っています。きっかけは「らんらんマップ」を作成する際実施したアンケート結果から、町内の駅が利用しにくいという意見が多くあったからです。

そこで、地域の方の協力を得ながら、実際に陽谷駅での検証を行った結果、段差がありホームが狭いなど誰もが安心して利用できる状況ではないことが分かりました。そこから、陽谷駅スロープ設置を求め署名活動を行い、4334人分の署名を集めました。これを工藤町長に提出し、3月12日には、町長とともにJRに陳情にきました。

誰もが心地よいと感じる環境づくりには、地域全体を巻き込んだ活動が必要だと言う渡部さんは、「一人ではできないことも、たくさんの方の協力があれば、実現に向けて一歩一歩近づくことができます。これまで、アンケートや署名、現場検証などたくさんの方に協力していただき、本当に感謝しています」と話します。

「町内には、私たちと同じ気持ちを持ち、それぞれの方が活動しています。それがネットワークとしてつながれば、もっと大きな課題にも立ち向かう力がでると思います」と話してくれました。

日出町の人のうごき

平成22年4月1日現在の
住民基本台帳の登録人口

人口	28,563 (+ 30)	+ 31
男	13,665 (+ 9)	- 27
女	14,898 (+ 21)	+ 58
世帯数	11,357 (+ 43)	+ 106
南端	315 (± 0)	
豊岡	7,202 (+ 19)	
日出	5,800 (- 9)	
藤原	3,844 (+ 23)	
川崎	5,882 (+ 15)	
大神	5,520 (- 18)	

() 内は前月比
□ 内は昨年4月1日比